

■混合水栓分解図

混合水栓の修理方法

- ・一般的な混合水栓です。
- ・現在市販されている混合水栓は精密に出来ていますので、修理は製造メーカーまたは指定給水装置工事事業者へお問い合わせください。

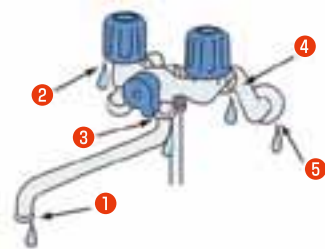


難しそうな混合水栓の修理。

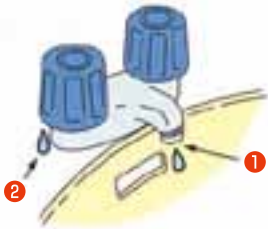
やってみるとあれ…意外とカンタン。



■異常箇所・状態



- ①ハンドルをしてもポタポタ水がおちる。
- ②ハンドル下より水がもれる。
- ③パイプのつけ根より水がもれる。
- ④クランクナット部分より水がもれる。
- ⑤取付部分から水がもれる。

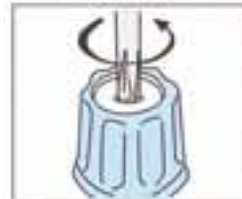


■混合水栓の修理方法

①からの水もれはコマパッキンを取替えます。
※修理前に、湯および水の元栓をしめてください。



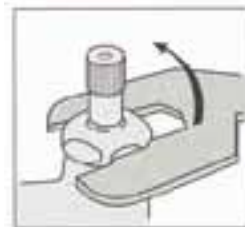
ポイントをマイナスドライバーがキリなどでこじめるようにしてはずします。



ドライバーでビスをはずします。(サイズの合ったドライバーを使用し、固いときには一気にグッと力を入れてまわします。)



ハンドルを上引き抜き、インサート樹脂も同じように上に引き抜いてください。(インサート樹脂がハンドルと一体化したものが多く、これはハンドルを抜くだけです。)



カバーナットをゆるめてはずします。②からの水もれがある場合は、このカバーナットの内側にある水栓ハンドル内パッキンを交換してください。



次に、スピンドルをまわしながら上に抜きとりますが、固いときはいったんはずしたインサート樹脂とハンドルをかがせてまわすと案はずせませす。



コマは本体に残っているので、コマツマミヤピンセットなどでつまみ出し、新しいコマやコマパッキンに交換します。

交換後は以上の逆の手順で組み立ててください。